

栗原彦三郎 くりはら ひこさぶろう 評論家、實業家、政治家。明治十二年二月七日
栃木縣生れ（一八七九）。 號見南。明治二十一年青山學堂卒。直ちに操
觚界に入り、「東京慈善新報」を始め「新世界」、「東半球」等の雜
誌を發刊、更に中外新論社を創立した。一方日本輕銀會社、北海道漁
業等の諸會社を設て經營。大正十五年東京市會議員となり、次いで代議
士の當選。漢詩を能くした池、畫畫に長じた。

著書「從軍雜詠」（昭和十二年八月）、「中外新論社」等。

